

Reference D2

Japanese Utility Model Kokai No. 03-60246

Laid-opening date: 13 June 1991

Application No.: 01-119385

Filing date: 11 October 1989

Applicant: Takahiro HOSHINO (Mr), Yokohama-shi,
Kanagawa Pref.

Title: Disposable receptacle

Claims:



1. A disposable receptacle made of a synthetic resin film, an aluminium foil or the like, which is sealed being enclosed with a liquid or a powdery body, comprising: forming a seal portion 2, 3, 7, 8 in the side from which content C is intended for discharge, in a projection 4 in the reversed triangle shape inside the receptacle, providing a guiding-out path 5 for the discharge of the content C, said path being widened in its outer end side over said projection 4 and the outer end portion of said seal portion 2, 3, 7, 8, and pressurizing the drum portion of said receptacle 1 whereby a stress is concentrated to said protection 4 and the seal is released from said end so that the content C may be discharged passing through the guiding-out path 5.

2. A disposable receptacle according to claim 1, wherein one or several places in the widened portion 5a of the outer end side of said guiding-out path 5 are point melt adhered.

3. A disposable receptacle according to claim 1 or 2, wherein the receptacle is provided with one or more partition walls 6 so as to contain, in separation, different kinds of liquids, powdery bodies, gases, etc.

4. A disposable receptacle according to any one of claims 1 to 3, wherein the inside of the receptacle 1 are separated in plurality by the partition walls 6 using a film or the like which is breakable more easily than the receptacle material, one chamber contains a liquid while the other chambers contain a liquid and a suitable amount of gas thereby to be sealed, the drum of the receptacle 1 is pressurized so that firstly the partition walls 6 are broken to mix the liquid and secondly the mixed liquid is discharged from the guiding-out path 5.

5. A disposable receptacle according to any one of claims 1 to 4, wherein the volume in the side where the content C of the receptacle 1 is intended for discharge is made larger than those of the other sides.

[EMBODIMENTS]

The invention will not be described, by way of embodiments, with reference to the accompanying drawings.

Fig. 1 is a front view of one embodiment of the present receptacle filled with the content; Fig. 2 is an enlarged view of the right side face of the same receptacle; Fig. 3 is a front view of another embodiment; Fig. 4 is an enlarged view of the right side face of the embodiment of Fig. 3; Fig. 5 is a front view of still another embodiment; Fig. 6 is a sectional view taken along the line A-A of Fig. 5; Fig. 7 is an enlarged front view of one embodiment of the sealing section effective to prevent particularly liquid from scattering; and Fig. 8 and Fig. 9 are front views of the receptacles in which the projection tips of the sealing portions located in the receptacles are made easily releasable.

In the receptacle shown in Fig. 1, it is provided with sealing portions 2, 3 in both the sides in the easily releasable directions of the receptacle 1 composed of a film laterally releasable. The

sealing portion 3 is provided with a projection 4 having a T-shape and an inwardly reverse triangle shape, the receptacle is provided with a guiding-out path 5 and a widened guiding-out path 5a for discharging the content, over said projection 4 and the outer end of said sealing portion 3. It is adapted such that if the body of the receptacle 1 is pressurized, the seal comes off the tip a formed in nipple profile and the content C may be discharged while passing through the widened guiding-out path 5a from the guiding-out path 5. However, since the content enters from the narrow guiding-out path 5 into the widely opened guiding-out path 5a the content is not feared for scattering because the discharging speed is delayed in the widely opened guiding-out path 5a.

In the receptacle of Fig. 1, several melt adhesion points 5b are applied to the widely opened guiding-out path 5a shown in Fig. 1. If the drum part of the receptacle 1 is pressurized, a stress is centralized at the tip a of the projection 4 likewise in Fig. 1, when the seal is released from the tip so that the content C enters the widely opened guiding-out path 5a from the guiding-out path 5. At that time the discharging speed becomes slow but in the widely opened guiding-out path 5a the speed of discharging the content C is further delayed being obstructed in the melt adhesion points 5b, so that the content C is smoothly discharged without scattering.

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-60246

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)6月13日

B 85 D 33/38

6833-3E

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全2頁)

⑮ 考案の名称 使い捨て容器

⑯ 実 願 平1-119385

⑰ 出 願 平1(1989)10月11日

⑱ 考 案 者 星 野 孝 寛 神奈川県横浜市緑区あざみ野3-24-24

⑲ 出 願 人 星 野 孝 寛 神奈川県横浜市緑区あざみ野3-24-24

⑳ 代 理 人 弁理士 樋口 盛之助 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- 1 液体、粉粒体等を封入してシールする合成樹脂フィルム製、アルミニウム箔製等の使い捨て容器において、内容物を排出させたい側のシール部を、その内側に逆三角形形状等の突出部に形成すると共に、該突出部と該シール部の外側端部にかけて外側端側が拡開した内容物排出用の導出路を設け、容器の胴体を押圧することにより、前記突出部に応力を集中させて、その端部からシールを剝離し、内容物が導出路を通って排出されるようにしたことを特徴とする使い捨て容器。
- 2 導出路の外側端側の拡開部における1乃至数箇所を点溶着したことを特徴とする請求項1に記載の使い捨て容器。
- 3 容器内に1乃至複数の仕切り壁を設けて異種の液体、粉粒体、気体等を区分して収容するようにしたことを特徴とする請求項1又は2に記載の使い捨て容器。
- 4 容器材料より易破裂性のフィルム等を用いた仕切り壁により容器内を複数分し、一つの室に液体を、他の室に液体と適宜量の気体をそれぞれ

れ入れてシールし、容器の胴体を押圧することにより、まず仕切り壁を破裂させて液体を混合させ、次いで混合液を導出路から排出するようにした請求項1～3に記載の使い捨て容器。

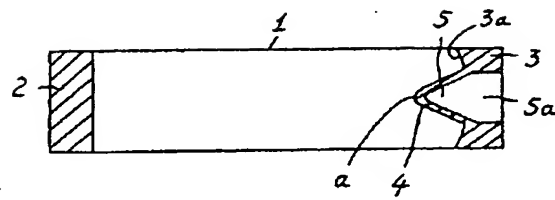
- 5 容器の内容物を排出させたい側の容積を他側のそれより大きくした請求項1～4に記載の使い捨て容器。

図面の簡単な説明

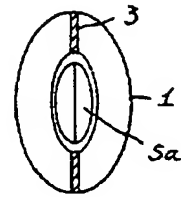
第1図は内容物を充填した本考案容器の一例の正面図、第2図は同じく右側面拡大図、第3図は別例の正面図、第4図は同じく右側面拡大図、第5図は更に別例の正面図、第6図は第5図のA-A線断面図、第7図は特に液の飛散を防止するのに効果的なシール部の一例の正面拡大図、第8図及び第9図は容器内に位置するシール部の突出部先端が剝離し易いようにした容器の正面図である。

1…容器、2, 3, 7, 8…シール部、4…突出部、3a…シール部3に設けた円弧状部、5…導出路、5a…拡開部、5b…点溶着、5c…膨出部、6…仕切り壁、11, 12…室、C…内容物、C₁, C₂…液体、C₃…気体。

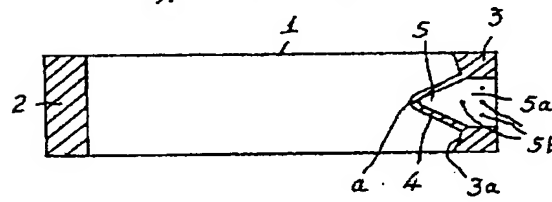
第 1 図



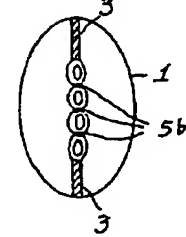
第 2 図



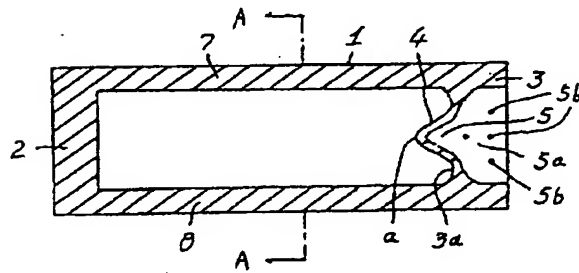
第 3 図



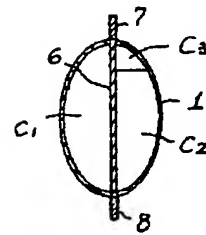
第 4 図



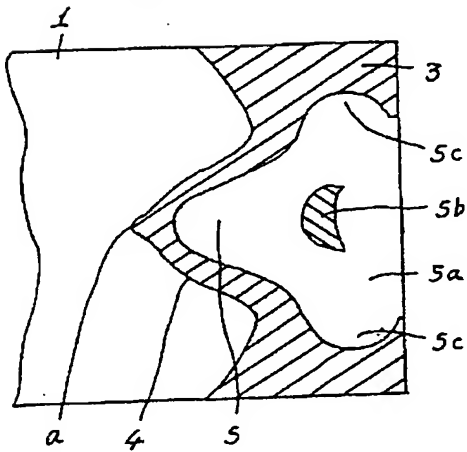
第 5 図



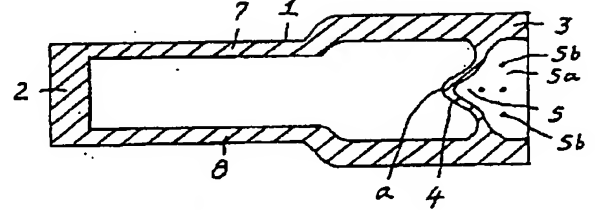
第 6 図



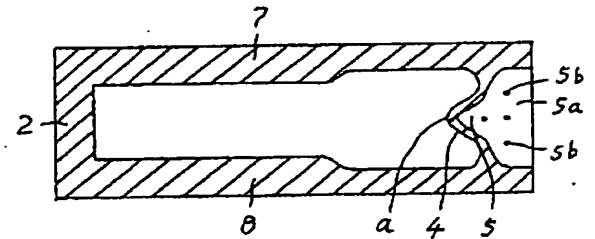
第 7 図



第 8 図



第 9 図



公開実用平成 3-60246

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-60246

⑬ Int. Cl.³

B 65 D 33/38

識別記号

庁内整理番号

6833-3E

⑭ 公開 平成3年(1991)6月13日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全 頁)

⑮ 考案の名称 使い捨て容器

⑯ 実 願 平1-119385

⑰ 出 願 平1(1989)10月11日

⑱ 考 案 者 星 野 孝 寛 神奈川県横浜市緑区あざみ野3-24-24

⑲ 出 願 人 星 野 孝 寛 神奈川県横浜市緑区あざみ野3-24-24

⑳ 代 理 人 弁理士 樋口 盛之助 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

使い捨て容器

2. 実用新案登録請求の範囲

1 液体，粉粒体等を封入してシールする合成樹脂フィルム製，アルミニウム箔製等の使い捨て容器において、内容物を排出させたい側のシール部を、その内側に逆三角形状等の突出部に形成すると共に、該突出部と該シール部の外側端部にかけて外側端側が拡開した内容物排出用の導出路を設け、容器の胴体を押圧することにより、前記突出部に応力を集中させて、その端部からシールを剥離し、内容物が導出路を通して排出されるようにしたことを特徴とする使い捨て容器。

2 導出路の外側端側の拡開部における1乃至数箇所を点溶着したことを特徴とする請求項1に記載の使い捨て容器。

3 容器内に1乃至複数の仕切り壁を設けて異種の液体，粉粒体，気体等を区分して収容するようにしたことを特徴とする請求項1又は2に記載の

使い捨て容器。

4 容器材料より易破裂性のフィルム等を用いた仕切り壁により容器内を複数分し、一つの室に液体を、他の室に液体と適宜量の気体をそれぞれ入れてシールし、容器の胴体を押圧することにより、まず仕切り壁を破裂させて液体を混合させ、次いで混合液を導出路から排出するようにした請求項1～3に記載の使い捨て容器。

5 容器の内容物を排出させたい側の容積を他側のそれより大きくした請求項1～4に記載の使い捨て容器。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、インスタント食品の調味料、シャンプーセットにおけるシャンプーとリンス、薬剤等の液体、粉粒体又は適宜の気体を封入、シールし、前記内容物を排出させたい側のシール部においてシールを剥離させて内容物を取り出し、使い捨てにする容器に関するものである。

〔従来技術〕

従来の上記のような容器は、通常、シール部に開封案内用の切目を設け、この切目から容器を引き裂いて内容物を取り出すようになっている。

〔考案が解決しようとする課題〕

然し乍ら、従来の上記の容器は、切目からの容器の引裂が容易でないものが多く、そのため、

- ①引裂時に内容物が飛散して被服等を汚す
- ②食品用のものにあっては引裂した破片が食物の中に入ることが屢々あり、衛生的でない
- ③上記破片に付着した内容物により被服等を汚すなどの問題点があり、また、現状では２種以上の液体を混合して使用する充填剤等の容器として簡易な使い捨ての容器は用いられていない。

従って、本考案が解決しようとする課題は、開封が容易で上記のような問題点のない使い捨ての容器は勿論、二種以上の液体を混合して使用する凝固剤、充填剤等の使い捨て容器を提供することである。

〔課題を解決するための手段〕

本考案は上記の課題を解決することを目的とし

てなされたもので、その構成は、液体、粉粒体等を封入してシールする合成樹脂フィルム製、アルミニウム箔製等の使い捨て容器において、内容物を排出させたい側のシール部を、その内側に逆三角形形状等の突出部に形成すると共に、該突出部と該シール部の外側端部にかけて外側端側が拡開した内容物排出用の導出路を設け、容器の胴体を押圧することにより、前記突出部に応力を集中させて、その端部からシールを剥離し、内容物が導出路を通して排出されるようにしたことを特徴とするものである。

而して、本考案においては、導出路の外側端側の拡開部における1乃至数箇所を点溶着したり、容器内に1乃至複数の仕切り壁を設けて異種の液体、粉粒体、気体等を区分して収容するようにし、内容物を排出する際に導出路において混合するようにしても良く、また、容器内を容器材料より易破裂性の仕切り壁により複数分して形成される室の一室に液体を収容すると共に他の室に前記とは異種の液体と適量の気体を収容し、容器の胴体を

押圧すれば、まず仕切り壁が破裂して内容物の液体が混合され、次いで、混合液が導出路から排出されるようにしても良い。

〔考案の作用〕

本考案使い捨て容器は、内容物を排出させたい側のシール部を、その内側に逆三角形状等の突出部に形成すると共に、該突出部と該シール部の外側端部にかけて外側端側が拡開した内容物排出用の導出路を設けたから、容器の胴部を押圧すれば、前記突出部に応力が集中して、その先端部からシールが剥離され、内容物が導出路を通して飛散することなく排出される。

また、前記拡開部における1乃至数箇所を点溶着すれば、内容物の排出時に内容物の飛散は一層抑制される。

更に、容器内に1乃至複数の仕切り壁を設けて異種の液体、粉粒体、気体等を区分して収容するようにし、導出路の拡開部に上記の点溶着を施せば、内容物が排出される際に良く混合、攪拌され、内容物が飛散するおそれもなくなる。



本考案において使用する材料は、ヒートシール可能な合成樹脂フィルム、ヒートシール層を設けた合成樹脂フィルムやアルミニウム箔等で、ヒートシール可能な合成樹脂フィルムとしては、厚さ20~100 μ のポリプロピレン、EVA、ポリエチレン等のフィルムが好適であり、また、非ヒートシール性の樹脂フィルムやアルミニウム箔等にヒートシール層を形成するための樹脂としては、EVAやアイオノマー系樹脂等の熱可塑性樹脂が好適である。

〔実施例〕

次に本考案の実施例を図により説明する。

第1図は内容物を充填した本考案容器の一例の正面図、第2図は同じく右側面拡大図、第3図は別例の正面図、第4図は同じく右側面拡大図、第5図は更に別例の正面図、第6図は第5図A-A線断面図、第7図は特に液の飛散を防止するのに効果的なシール部の一例の正面拡大図、第8図及び第9図は容器内に位置するシール部の突出部先端が剥離し易いようにした容器の正面図である。

第 1 図に示すものは、シール部が図の横方向に剥離し易いフィルムから成る容器 1 の易剥離方向両側にシール部 2, 3 を設けたもので、シール部 3 は T 字状で内側に逆三角形形状の突出部 4 が設けられており、この突出部 4 とシール部 3 の外側端部にかけて内容物を排出するための導出路 5 及び拡開導出路 5a が設けられていて、容器 1 の胴部を押圧すれば、乳頭状に形成された先端部 a からシールが剥離して、導出路 5 から拡開導出路 5a を通って内容物 C が排出されるようになっているが、内容物は狭い導出路 5 から広い拡開導出路 5a に入るため、排出速度が拡開導出路 5a において遅くなるので、内容物が飛散するおそれはない。

第 3 図に示すものは、第 1 図に示すものの拡開導出路 5a に点溶着 5b を数個施したものであり、容器 1 の胴部を押圧すれば、第 1 図のものと同様に、応力が突出部 4 の先端部 a に集中して、その先端部からシールが剥離し、導出路 5 から内容物 C が拡開導出路 5a に入って、その排出速度は遅くなるが、この拡開導出路 5a において更に点溶着 5b 部に



邪魔されて内容物Cの排出される速度は一層遅くなるため、内容物Cは飛散することなく、排出される。

また、第5図に示すものは、容器1内にその材料より易破裂性の材料から成る仕切り壁6を設けて四側辺をシールして、シール部2, 3, 7, 8を設けると共に、容器1内を室11, 12に二分し、室11内に液体C₁を、室12内に液体C₂と気体C₃を、それぞれ収容したもので、容器1の胴体を押圧すれば、まず、仕切り壁6が破裂して、室11, 12内の液体C₁とC₂が容器1内で混合され、次いで、シール部3の内側に設けた突出部4の先端部aからシールが剥離し、液体C₁と液体C₂の混合物が導出路5から拡開導出路5aに入って、排出速度が遅くなると共に、点溶着部5bに邪魔されて渦を発生し、混合、攪拌されながら排出される。従って、二液を混合させて使用する、例えば土木用の凝固液、充填剤などの容器として好適である。

第7図に示すシール部3は、突出部4の形状を略逆三角形で先端部aを乳頭状に形成する一方、

導出路 5 と拡開導出路 5a を連続した逆三角形状に形成すると共に拡開導出路 5a の該側端側に略半円形状の膨出部 5c に形成し、且つ、点溶着部 5b を前記膨出部 5c、5c 間の突出部 4 側中央部に設けたもので、該点溶着部 5b は内容物の排出側に向けて上弦半月状又は三ヵ月状に形成してある。こうすることにより、容器 1 の胴体を押圧すると、突出部 4 の先端 a が剥離されて排出される内容物 C が導出路 5 及び拡開導出路 5a、膨出部 5c に拡散されると共に点溶着部 5b に当たった内容物 C はここで速度を弱められて、内容物 C が飛散するおそれはない。

また、第 8 図及び第 9 図に示すものは、容器 1 の胴体を押圧した際、突出部 4 の先端 a が剥離しやすいようにしたもので、容器 1 における内容物 C 排出側の容積を他側のそれより大きくしたもので、第 8 図々示のものは、容器 1 の内容物排出側の幅員を大きくしたものであり、また、第 9 図々示すものは、容器 1 の幅員は両側とも同じにしてその四辺をシールするようにし、内容物排出側の

シール部 3 の幅員を通常の大きさ、他側のシール部 2 側の幅員をそれより大きくして、シール部 3 側の容積をシール部 2 側の容積より大きくしたものである。こうすることにより、容器 1 の胴体を押圧すると、突出部 4 の先端 a に集中する応力が増幅されて、該先端 a 部は剥離しやすくなるのである。

尚、図中、シール部 3 の幅方向両側部に円弧状部 3a を形成したのは、シール部 3 の両端部において容器 1 が破れて、そこから内容物 C が排出されるのを防止するためである。

また、本考案使い捨て容器は、これを連続包装体に形成して、連続的に内容物を収容しながらシールするようにしても良い。

上記の各実施例において、突出部 5 の先端 a を乳頭状に形成したのは、シールが剥離し始める際に、先端部に丸みを付けると、シールが良好に剥離し始めるからである。また、拡開導出路 5a の両側縁を曲率縁に形成したり、点溶着部 5b の位置、形状を適宜配慮することにより、拡開導出路 5a の

内部で排出される二種以上の液体が良く攪拌、混合することが出来る。

而して、上記各容器は内容物を取り出したら、そのまま使い捨てにする。

〔考案の効果〕

本考案は上述の通りであって、シール部をシールの易剥離方向に設け、内容物を流出させたい側のシール部の形状を内側に逆三角形等の突出部を有する形状とすると共に、該突出部とシール部外側端部にかけて外側端側が拡開した導出路を設けて、容器の胴部を押圧すれば、前記突出部に応力が集中し、その先端部から容器のシールが剥離し、導出路から内容物が拡開部に入り、流速を弱められて流出するようにしたから、内容物が飛散しないので、内容物の飛散により被服等を汚すおそれはなく、また、シール部を容器から切り離さないで、破片が食物等の中に入ったり、破片により被服等を汚すおそれもない。

また、導出路の拡開部における1乃至数箇所を点溶着すれば、内容物の排出時における内容物の

飛散は一層抑制されるほか、次のような効果がある。

即ち、容器内に1乃至複数の仕切り壁を設けて異種の液体を区分して収容し、導出路において混合するようにすれば、液体の排出時に、導出路の拡開部において点溶着部に邪魔されて混合液に乱流が起こって攪拌されるので、混合効果を向上させることができる。

また、土木作業において、二液混合型の凝固液を用いるような場合、容器内に容器の材料より易破裂性のフィルム等から成る仕切り壁を設け、二液を区分して収容すると共に一方の室に気体を収容してシールし、使用時に容器の胴体を押圧して、まず仕切り壁を破裂させて両液を混合した後、突出部のシールを剥離して混合液を導出路から排出させるようにすれば、上記と同様に導出路の拡開部において混合液に乱流が生じて攪拌されるので、混合効果が著しく向上する。

従って、本考案使い捨て容器は、インスタント食品の調味料や洗髪用のシャンプーやリンス、そ

その他薬品，自動車用のオイルや添加物，土木工事に用いる二液式或は複數液式注入剤等の使い捨て容器として好適である。

4. 図面の簡単な説明

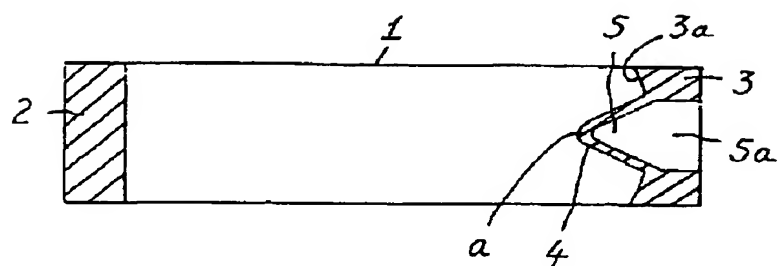
第1図は内容物を充填した本考案容器の一例の正面図、第2図は同じく右側面拡大図、第3図は別例の正面図、第4図は同じく右側面拡大図、第5図は更に別例の正面図、第6図は第5図A-A線断面図、第7図は特に液の飛散を防止するのに効果的なシール部の一例の正面拡大図、第8図及び第9図は容器内に位置するシール部の突出部先端が剥離し易いようにした容器の正面図である。

1…容器、2，3，7，8…シール部、4…突出部、3a…シール部3に設けた円弧状部、5…導出路、5a…拡開部、5b…点溶着、5c…膨出部、6…仕切り壁、11，12…室、C…内容物、C₁，C₂…液体、C₃…気体

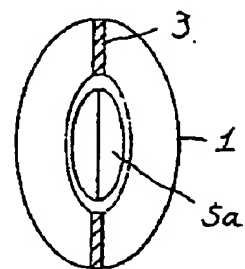
代理人 樋口盛之助

同 小泉良邦

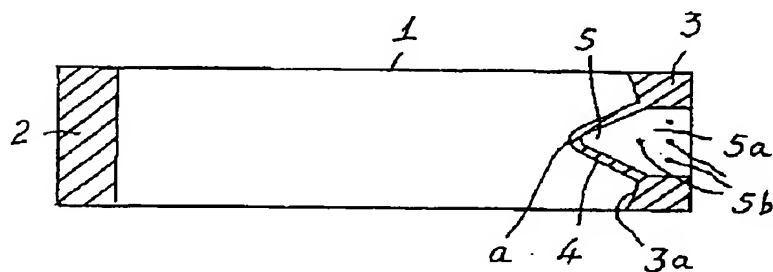
第 1 図



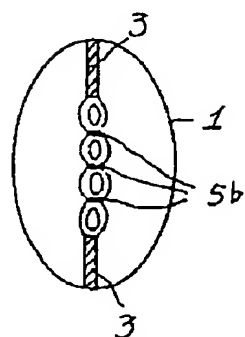
第 2 図



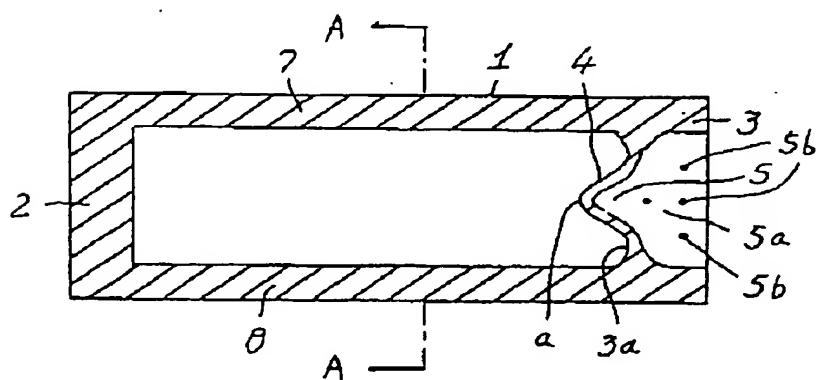
第 3 図



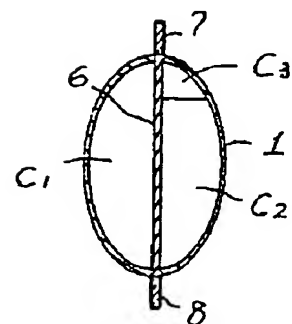
第 4 図



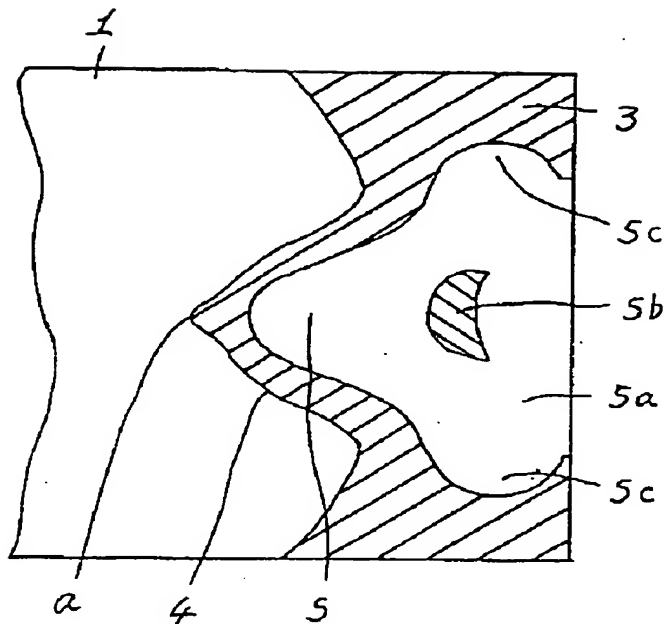
第 5 図



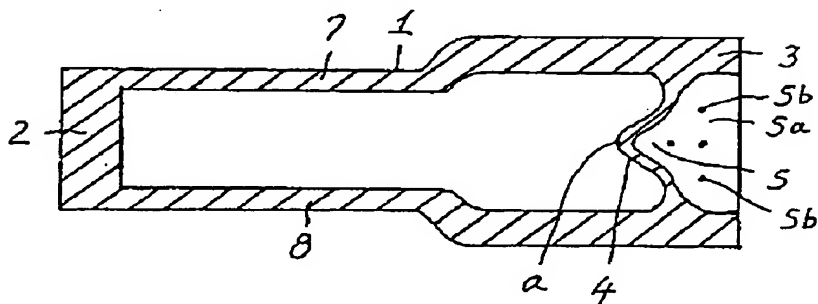
第 6 図



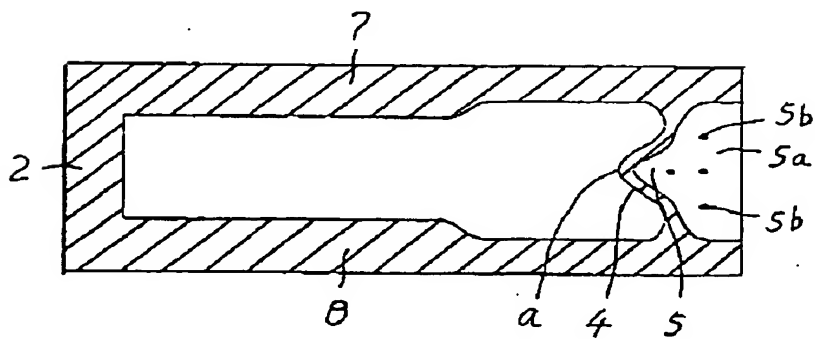
第 7 图



第 8 图



第 9 图



563 実用3 - 60246

代理人 樋口盛之助 外1名

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.